

第9回楽天イーグルス杯ザバスキッズベースボール大会9人制ルール
(楽天イーグルス・ルール)

キッズベースボール大会 大会規則 -試合方法に関する事項-

- 1) 下記特別ルール以外は野球規則とする。
- 2) 試合は基本2イニングとする。
- 3) 攻撃はティーボール形式とし、1番から9番まで連続で攻撃を行い、最終9番打者のプレーが終了するまでの総点数をイニングの得点とする。
- 4) 攻撃開始は、1塁9番打者・2塁8番打者・3塁7番打者と塁を埋めた状態より始める。
- 5) 各イニングの9番最終打者の攻撃時は通常の野球ルールの2アウトの設定で行う。
- 6) 走者の離塁は、概ね打者のスイングがホームベース上に通過する頃より行なうこと。
- 7) 空振り、三振は無しとする。
- 8) 守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げ、アピールをした場合に審判はボールデッドを宣告する。宣告時に塁間にいる選手は、元の塁に戻り試合を再開する。但し、3塁ランナがいる場合は適用を除外し、タッチアウト・フォースアウトを優先してプレーを行い、当該するランナが進塁の意思が無いと判断した場合ボールデッドを認める。
- 9) 競技場区画線は学童の部規格とし、打撃ティースタンドをホームベースより3mピッチャーマウンド側に設置する。尚、外野の距離は60m程度とする。
- 10) ホームベースよりダイヤモンド内に半径8mのラインを引き、円内の打球はファールボールとする。
- 11) ホームベース後方ボールデッドラインは、ホームベースより半径8mのライン、また1・3塁線に平行に8m引いたラインをボールデッドラインとする。8mのデッドラインよりボールが出た場合は全てテイクワンベースとする。
- 12) アピールは監督のみとする。
- 13) グラウンド特別ルールは、大会審判役員において決定する。
- 14) ブロックごとにリンク戦を行う。各ブロック1位の勝率が同じ場合は得失点の多い方を勝ちとする。勝率、得失点それぞれが同じ場合は抽選で勝敗を決定する。

競技運営に関する注意事項

- 1) ベンチは組合せ番号の若い方を1塁側とする。
- 2) 試合をスピーディに行う為、選手の攻守交代はかけ足で行うこと。

審判に関する事項

- 1) 主審は、楽天イーグルス認定審判員とする。
- 2) 記録員・塁審は参加チーム帯同とし、組み合わせ番号の若い方が記録員・2塁、他方が1塁・3塁とする。